

「経理業務の効率化につながるDXの実践」

開催日：令和8年11月9日（月）

申込期限：令和8年10月19日（月）

実施会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層、管理者層

ねらい：法改正など経理分野を取り巻く環境の変化や、変化に対応する経理業務のデジタル化に向けた手法を理解し、自社に合ったシステムの導入方法を習得する。

基本項目	主な内容
1 経理業務の現状と課題	オリエンテーション ・研修の目的 + アイスブレイクで参加者の交流を促進 現状の分析 ・取り巻く環境の変化や経理業務の基本的なフローを理解する ・【演習】自社の経理業務における課題と原因を整理する
2 業務を改善する手法と手順	業務改善の基本 ・カイゼンの心得をトヨタに学ぶ ・可視化→標準化→自動化のセオリー ・【演習】棚卸で可視化、手順書で標準化、自動化を管理 ・費用対効果の測定
3 ツール・システムの導入 (DXの実践)	DXの意義 ・そもそもDXとは何か本質を押さえる ・【演習】リアルタイムな活用ができているかチェック 事例紹介 ・財務会計、請求書受領、給与明細など用途別のシステム例 ・RPAやAI-OCRなど最新ツールも紹介 生成AIの活用 ・効果的なプロンプト（指示文）の出し方 ・【演習】事例を参考に導入検討 導入プロジェクト ・プロジェクトの導入から終結まで ・スケジュール作成とリスク管理

2 | 講師紹介

※受講者の当日の様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

清水 弘之 / 一般社団法人中部産業連盟



1999年に京都大学理学部を卒業し、大手通信会社でITサービス事業の企画を担当した後、総合家電メーカーにてIT事業の企画リーダーを歴任。2017年より中部産業連盟で経営革新やDX等のコンサルタント・研修講師として多くの実績を重ねる。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

初めての方でも現状の課題を的確に分析し、実際の成功事例から解決策を導き出す研修です。業務改善の基本からDXプロセスや生成AI活用まで体系的に学び、実践的なスキルを習得します。グループワークやディスカッションを通じ、自社と異なる視点から多くの気づきが得られます。